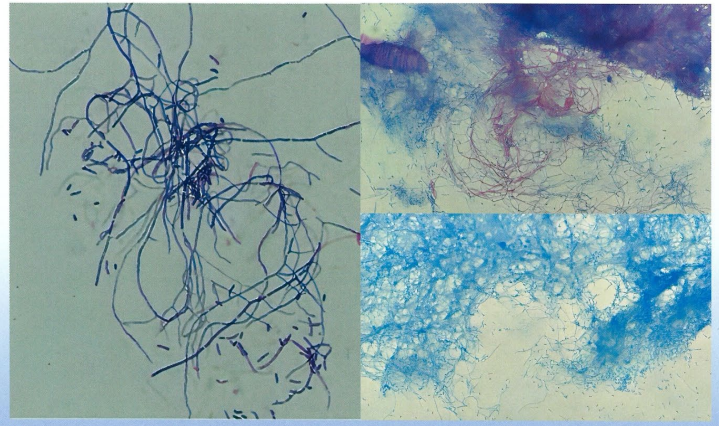
臨床血液
Jpn J Clin Hematol
令和7年2月28日発行（毎月1回30日発行　第66巻第2号）©2025
ISSN 0485-1439

臨床血液

Vol.66
No.2 2025
February

The Japanese Journal of Clinical Hematology



日本血液学会

症例報告

〈第 14 回日本血液学会九州地方会　優秀演題〉

成人 T 細胞白血病・リンパ腫くすぶり型と鑑別を要した *Nocardia asiatica* による筋肉内膿瘍・多発性リンパ節炎

山城真人[1]，中島　知[1]，伊礼由佳[1]，宮城理子[1]，
北村紗希子[1]，玉城啓太[1]，西　由希子[1]，森近一穂[1]，
仲地佐和子[1]，前原博樹[2]，福島卓也[3]，益崎裕章[1]

左上腕三頭筋の腫瘤を主訴に来院した 72 歳男性。切開術を施行し排膿を認めた。病理検査で悪性所見はなく起因微生物の同定にも到らず cefazolin も無効であった。追加の CT 検査で全身性リンパ節腫脹を，血液検査で HTLV-1 抗体を検出。末梢血単核球で HTLV-1 プロウイルスのモノクロナリティを確認した。左腋窩リンパ節の再生検でも異常細胞は確認されず成人 T 細胞白血病・リンパ腫くすぶり型と診断。膿培養の延長を行い *Nocardia* sp.を検出。16S rRNA 解析で *Nocardia asiatica* を同定。薬剤感受性試験の結果を踏まえて ST 合剤と minocycline を開始し，3 ヶ月で全身性リンパ節腫脹は改善した。多発リンパ節腫脹を呈する *Nocardia asiatica* 感染症の報告は極めて稀であるが免疫能低下を背景とした全身性リンパ節腫脹の鑑別診断で考慮することが重要である。（臨床血液 66（2）：121～126，2025）

Key words : *Nocardia asiatica*, Adult T-cell leukemia/lymphoma, Systemic lymphadenopathy, 16S rRNA sequencing

緒　言

Nocardia は好気性グラム陽性桿菌で免疫低下を背景に日和見感染症を引き起こす。*Nocardia* 感染症の約半数に免疫低下が関与しており，免疫抑制剤の内服患者や担がん患者に併発する報告が増加している[1)]。呼吸器感染症と皮膚軟部組織感染症の頻度が高いが，約 3 割で脳膿瘍を合併しその死亡率は 3 割に達する[2)]。

症　例

血液疾患の既往と家族歴のない 72 歳の園芸家の男性。2023 年 2 月から左上腕に腫瘤を自覚。バイタルサインは安定していたが週単位で増大し疼痛を伴ったため，同年 4 月に整形外科を受診。造影 MRI 検査で左上腕三頭筋内に腫瘤性病変を認め（Fig. 1A～D），悪性腫瘍の鑑別に切開術が施行された。腫瘤は膿瘍化していた。グラム染色は実施できず，一般細菌培養と抗酸菌培養，抗酸菌 PCR 検査を施行したが起因微生物の同定に到らなかった。Cefazolin 1 g 8 時間ごとの点滴静注を行うも創部からの排膿は持続。追加の CT 検査では，左腋窩リンパ節を最大とし全身性にリンパ節腫脹を認めたため，悪性リンパ腫が疑われ当科に紹介となった。診察では両頸部，鎖骨上窩，腋窩，鼠径リンパ節の腫脹を触知し左前腕には痂皮を認めた。血液検査では白血球数 15,200/μl（分葉核球 67%，リンパ球 20%，単球 6%，好酸球 2%，ATL 様細胞 5%），Alb 2.9 g/dl，BUN 12.9 mg/dl，Ca 9.2 mg/dl，LDH 161 U/l，CRP 3.7 mg/dl，可溶性 IL-2R 16,629 U/ml，HTLV-1 抗体陽性，T-SPOT 陰性，*Bartonella* 抗体陰性，*Toxoplasma* 抗体陰性であり（Table 1），成人 T 細胞白血病・リンパ腫（adult T-cell leukemia-lymphoma: ATL）を疑った。末梢血の Southern blot 法で HTLV-1 プロウイルスのモノクロナリティを確認した。左腋窩リンパ節生検を追加したが，先の腫瘤と同様にリンパ節は膿瘍化しており異常細胞や肉芽腫は認めなかった。また，グラム染色では多量の赤血球と少数の好中球が見られ，菌体の確認はできなかった。診断基準より ATL くすぶり型と診断し，素手で土壌に触れることの多い生活歴から，*Nocardia* 属などの

受付：2024 年 9 月 10 日
受理：2024 年 12 月 3 日
[1] 琉球大学大学院医学研究科　内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座（第二内科）
[2] 琉球大学病院　高気圧治療部
[3] 琉球大学医学部保健学科病態検査学講座　血液免疫検査学分野